

「認定制度」対象アイテムおよび認定基準

「認定制度」は、そのアイテムが法令をクリアしていることを前提として、ASEAが定めるさらに厳しい試験、評価等が義務づけられた「認定基準」を満たしていることが条件となります。以下が対象アイテムおよび「認定基準」となります。なお順次対象アイテムを拡大していく予定ですので、最新の対象アイテムはホームページをご確認下さい。

2015年6月現在

分類	アイテム
駆動パーツ	クラッチディスク
	クラッチカバー
	フライホイール
	多板式クラッチキット
	シングルクラッチキット
サスペンションパーツ	ショックアブソーバー (車高調整タイプ)
	ショックアブソーバー (STD形状)
	スプリング (STD形状)
	スプリング (直巻)
ブレーキパーツ	ブレーキパッド・シュー
	ブレーキローター (1P)
	ブレーキローター (2P)
	ブレーキキャリパー
内装パーツ	シート (フルバケット)
	シート (リクライニング)
	シートレール
	ステアリング
	ステアリングボス

駆動パーツ

アイテム	項目	試験・評価等	認定基準
クラッチディスク	①フェーシング 単体強度	バースト強度試験	11,000rpm以上で破壊のないこと
	②ディスクAssy強度 (ハブ付)	強度試験	15,000rpm以上で3分間で 変形がないこと
	③材質	MSDS (化学物質安全データシート)	アスベストフリー・鉛フリーであること
クラッチカバー	①プレッシャー プレート硬度	ロックウェル試験方法	材質の硬度がHRB 82以上であること
	②本体強度	強度試験	15,000rpm以上で3分間で 変形がないこと
	③ダイヤフラム 耐久性	押付け繰返し試験	10万回にてへたりのないこと
フライホイール	①本体硬度	ロックウェル試験方法	材質の硬度がHRB 82以上であること
	②本体強度	強度試験	15,000rpm以上で3分間で 変形がないこと
多板式クラッチキット		ディスク及びカバーに準ずる	
シングルクラッチキット		ディスク及びカバーに準ずる	

サスペンション

アイテム	項目	試験・評価等	認定基準
ショックアブソーバー (車高調整タイプ) (STD形状)	①ブラケット強度	強度試験	破損のないこと
	a. ストラットブラケット強度	静荷重試験 荷重10kN×1G長	
	b. アイリング強度	静荷重試験 荷重14kN	
	c. コの字ブラケット強度	静荷重試験 荷重F14kN,荷重G16kN	
	②耐腐食性	耐食試験 (JIS Z2371塩水噴霧試験)	有害な錆・腐食のないこと
スプリング (STD形状) (直巻)	①-a 強度	降伏安全率 (安全規則 VI 改造自動車関係の能力強度等の基準より)	降伏安全率 1.3以上を確保していること
	①-b 強度	繰り返し荷重試験 ・STDストローク→ セット荷重時高さから 設計最大応力時高さまでを 試験時のストロークとする ・直巻ストローク→ 試験可能最少荷重から 設計最大応力時高さまでを 試験時のストロークとする	10万回の繰り返し試験で破断 または重大な機能・性能の 低下のないこと
	②耐腐食性	耐食試験 (JIS Z2371塩水噴霧試験)	有害な錆・腐食のないこと

ブレーキパーツ

アイテム	項目	試験・評価等	認定基準
ブレーキパッド・シュー	①性能試験データ	JIS D4411 (自動車用ブレーキライニング及びパッド) JASO C402 (乗用車常用ブレーキ実車試験方法) JASO C406 (乗用車ブレーキ装置ダイナモメーター試験)	左記いずれかの試験における 試験結果が、 フェード時のmin μが 0.25以上であること
	②材質	MSDS (化学物質安全データシート)	アスベストフリー・鉛フリーであること
ブレーキローター (1P)	①ディスク本体硬度	ロックウェル試験方法	材質の硬度がHRB 82以上であること
	②パーツ加工精度	厚み偏差(DTV) ランナウト MSF(マウンティングサーフィスフラットネス) 平行度	マイクロメーター 7/1000以内(10箇所以上) ダイヤルゲージ 5/100以内 ダイヤルゲージ 5/100以内 マイクロメーター 2/100以内

ブレーキパーツ

アイテム	項目	試験・評価等	認定基準
ブレーキローター (2P)	①ディスク本体硬度	ロックウェル試験方法	材質の硬度がHRB 82以上であること
	②パーツ加工精度	厚み偏差(DTV) ランナウト MSF(マウンティングサーフィスフラットネス) 平行度	マイクロメーター 7/1000以内(10箇所以上) ダイヤルゲージ 5/100以内 ダイヤルゲージ 5/100以内 マイクロメーター 2/100以内
	③ブレーキ装置の強度	ブレーキ装置繰り返し強度台上試験方法 (JASO C441-86) ※制動減速度7.8m/s ² (0.8G)とする	異常の無いこと
ブレーキキャリパー	①漏れ	漏れ試験 0.7Mpa(7Kgf/cm ²)の液圧を5分間負荷 10Kpa(0.1Kgf/cm ²)の液圧を24時間負荷 14Mpa(140Kgf/cm ²)の液圧を1分間負荷	液漏れの無いこと 液漏れの無いこと 液漏れの無いこと
	②高温作動耐久性	高温作動耐久試験 (別紙ASEAキャリパー認定基準を参照)	液漏れの無いこと
	③耐腐食性	高温作動耐久試験 (別紙ASEAキャリパー認定基準を参照)	液漏れの無いこと
ブレーキキャリパーキット(1Pローター)		ブレーキパッド、キャリパー、ローター (1P) に準ずる	
ブレーキキャリパーキット(2Pローター)		ブレーキパッド、キャリパー、ローター (2P) に準ずる	

内装パーツ

アイテム	項目	試験・評価等	認定基準
シート	①衝撃耐久性(前後方向)	衝撃試験(JIS D4610)(シートレール付)	25G(245m/s ²)の加速度に耐えられること
ステアリング	①強度耐久性	静的曲げ試験 (JASO C713)	変形量が50mm以上・200mm以内であること
		静的振り試験 (JASO C713)	変位量が100mm以内で 部分永久変形が10mm以内であること
		曲げ耐久試験 (JASO C713)	10万回の繰返し負荷試験で 破断・著しい永久変形のないこと
	振り耐久試験 (JASO C713)	10万回の繰返し負荷試験で 破断・著しい永久変形のないこと	
	②溶接部強度(ボルト取付を含む)	溶接部強度試験 (JASO C713)	永久変形・破壊がないこと
	③グリップ・パッドの材質	サーマルショック試験	車内温度変化で変形・亀裂等の 異状がないこと
	④ホーン接点の耐久力	耐久試験 (JASO C713)	操作回数3,000回で異状が起きないこと
ステアリングボス	①強度耐久性	静的曲げ試験 (JASO C713)	著しい永久変形・破壊がないこと
		静的振り試験 (JASO C713)	著しい永久変形・破壊がないこと
		曲げ耐久試験 (JASO C713)	10万回の繰返し負荷試験で 破断・著しい永久変形がないこと
	振り耐久試験 (JASO C713)	10万回の繰返し負荷試験で 破断・著しい永久変形がないこと	
	②センターナット/ボルト耐久性	締付け試験 (JASO C713)	1.5mm以上沈み込む永久変形・破壊がないこと